



# 川角中学校

郵便番号 350-0436  
 所在地 毛呂山町大字川角264番地1  
 電話番号 049(294)0142  
 F A X 049(294)6710  
 E-mail kawakadoj-001@bz04.plala.or.jp



## 学校教育目標

「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子」

- 進取（自ら学び、絶えず努力する生徒）
- 克己（心や体を鍛え、困難に打ち勝つ生徒）
- 親和（進んで奉仕し、平和を愛する心豊かな生徒）

## 学校の現況

校地面積 34,887㎡  
 校舎延面積 6,101㎡  
 屋内運動場面積 体育館1,345㎡ 武道場397㎡  
 教室数 普通教室11 特別教室22  
 生徒数 285人(R7.5.1現在)  
 学級数 11学級  
 教職員数 41人(R7.5.1現在)  
 校長 峯岸 博美  
 教頭 森谷 賢一  
 創立年月日 昭和22年4月1日

## 学校の沿革概要

昭和22.4.1 川角村立川角中学校創立  
 30.4.1 毛呂山町立川角中学校に改称  
 46.1.26 校歌制定  
 48.3.10 体育館完成  
 49.9.3 新校舎第1期完成  
 52.3.25 新校舎第2期完成  
 53.2.25 新校舎第3期完成  
 56.3 校庭拡張、武道館、プール完成  
 平成 8.11.30 開校50周年記念式典  
 19.2.20 開校60周年記念誌発行  
 22.8.31 北校舎耐震補強工事完了  
 23.8.31 体育館耐震補強工事完了  
 25.11.12 武道場改修工事完了

25.11.29 南校舎棟大規模改造工事完了  
 26.12.12 普通教室空調設備設置工事完了  
 27.1.20 北校舎棟・昇降口棟・北校舎棟  
 西側増築棟大規模改造工事完了  
 29.12.27 体育館大規模改造工事完了  
 30.2.28 武道館吊天井落下防止工事完了  
 31.4.1 学校運営協議会設置  
 令和 元.6.27 空調設備設置工事（職員会議室）  
 3.3.26 校内LAN構築及び  
 学習用タブレット端末整備  
 3.5.19 衛生設備自動水栓化工事完了  
 4.10.13 体育館内Wi-Fi環境整備完了  
 6.3.28 特別教室空調設備設置工事完了  
 7.1.30 体育館空調設備設置工事完了

## 学校の特徴

緑に恵まれた環境の中で、よさを伸ばし、社会に貢献する生徒の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。部活動や学校行事に前向きな生徒が多くいます。学校運営協議会制度が導入されて7年目となり、地域社会と一体となって子どもを育てる学校です。

### 指導法の改善等による基礎学力の向上

「学び合い」を通じて、主体的・対話的で深い学びを実践し、基礎学力の向上を目指しています。

### 心豊かな情操を育てる指導

心豊かな人づくりの一環として、日々の清掃活動はもとより、PTAと合同の美化活動を実施する等、環境の整備に重点を置いています。また、小中一貫教育として、小中教職員や児童生徒の交流を充実させていることに加え、積極的に地域人材等を活用し、コミュニティ・スクールを推進しています。さらに、「いのちの教育」として、福祉教育・ボランティア活動を推進し、地域から愛される学校を目指しています。

# 生涯学習

～楽しもう生涯学習～  
いきいき わくわく  
みんなが主役



放課後学習教室

## 沿革

昭和30年、現在の毛呂山町誕生とともにスタートした教育委員会は教育長を含めた3人で組織されていました。同年「公会堂」を「公民館」に改め、「毛呂山町公民館」、「毛呂山町公民館川角分館」として公民館的機能を有するようになりました。昭和40年代になると、社会教育係が設置され、社会教育の体制作りが本格的に推進され始めます。

昭和44年に毛呂山町公民館が完成しました。昭和53年には、現教育センター地内に町立図書館を設立するとともに、8年の歳月をかけた『毛呂山町史』を発行しました。昭和59年には、旧役場庁舎跡地に現在の中央公民館が完成し、昭和62年には、現在の図書館が完成しました。平成元年10月、毛呂山総合公園体育館の完成と、それを契機とした「毛呂山町スポーツ健康都市宣言」を表明しました。平成5年3月、歴史民俗資料館が完成し開館。平成6年10月には、毛呂山町合併40周年の節目に、大類グラウンドが完成しています。さらに生涯学習の拠点施設として、平成14年5月には木造の東公民館が開館、同年9月には第59回彩の国まごころ国体成年ソフトボール競技の会場地になった大類ソフトボールパークも完成しました。

また、平成18年3月に生涯学習推進のため、「第二次生涯学習基本計画・いきいき わくわく まなびすとプランⅡ ～学びあいとふれあいのまちづくりをめざして～」を策定し、第三次計画については、平成23年3月策定の毛呂山町教育振興基本計画に組み入れました。さらに平成22年10月には、『新毛呂山町史』を発行し、令和3年3月には第3期毛呂山町教育振興基本計画が策定され、生涯を通じた多様な学習活動の振興を推進しています。

## 目 標

少子高齢化や情報化が急速に進展し、町民を取り巻く社会環境も大きく変化していく中で、改めて社会教育が果たす役割に注目します。とくに町民一人ひとりが、互いを尊重し、多様な在り方を認め合える共生社会の考え方や人が交流するところに必ず人権課題があるという考えに立ち、人権教育を推進します。また、地域課題の解決や地域のコミュニティづくりのために人材を発掘し、これまでの学習活動の成果を地域に還元する仕組みをつくります。

## 1 家庭・地域の教育力の向上

### (1) 家庭教育支援体制の充実

家庭教育は、子どもの基本的な生活習慣や学力、社会でのルールを身に付けさせるために重要な役割を担っています。しかし、近年の社会環境の著しい変化は、地域コミュニティの希薄化、少子化や保護者の意識の変化もあり、家庭教育の環境づくりにも様々な影響を及ぼしています。令和7年度は子どもと大人と一緒に遊び・学ぶことで、地域社会とのつながりを深め、子どもたちのコミュニケーション能力の向上や子供と大人の絆の構築を図るキッズチャレンジ事業を実施します。

### (2) 放課後の児童への学習支援

令和3年度より、放課後の居場所づくりと基礎学力向上、地域住民と学校との連携を図ることを目的とし、小学4年生を対象とした「放課後学習教室」を開設しました。この事業は、「学校・家庭・地域が一丸となって“毛呂山の子ども”を育てよう」という考えのもと、地域やPTA・学生等、多くの方にサポートしていただく事業で、令和6年度は対象学年を4年生・5年生で実施いたしました。令和7年度は「放課後学習教室」の代わりに、民間委託の外部教師による「小学生ステップアップ教室」を実施します。

### (3) 地域学校協働活動の推進・充実

地域学校協働活動とは、地域の方々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動をいいます。

これまでも、地域と学校はゲストティーチャーや学校応援団など様々な活動を連携・協働して行ってきましたが、令和3年度から中学校区毎に地域学校協働活動推進員を委嘱し、協働活動のコーディネーター役として活動していただいております。令和7年度も地域学校協働活動推進員を中心に地域の方が多くの学校の支援活動に参加できるよう事業の推進に努めます。

## 2 生涯を通じた多様な学習活動の振興

### (1) 生涯学習体制の整備・充実

生涯学習とは、町民一人ひとりが生涯にわたり、あらゆる機会や場所において主体的に行われる学習活動で、その形態は様々です。令和7年度も生涯学習の学びの情報を町ホームページに掲載し、町主催事業だけでなく近隣大学の公開講座等を加え、学習情報を効果的に提供するように努めます。

### (2) 学習機会の提供と学習活動の支援

生涯学習の趣旨に則って、ライフステージに応じた学習機会を提供することで、住民の学習意欲を喚起し、学びの循環を作ることはまちづくりにとって大切なことです。住民が自発的に学ぶことで、やりがいや生きがいをもち、心豊かな生活を送り、社会参加自体を楽しむことができるような学習機会を作ります。

令和7年度も町内小学校4校の次年度就学児童の保護者を対象に、家庭教育の大切さ、親の役割や

## □生涯学習

親子の関わり方等、専門の派遣アドバイザーを招いての「親の学習」講座・子育て講座を開催する予定です。本講座は、保護者同士のコミュニケーションを図る機会としても有用性があり、アドバイザーと連携しながら事業を進めます。今後は、学齢に応じた「親の学習」の機会として、中学生の保護者へも拡大したいと考えます。

高齢者学級・いきがい学級として定着している「寿大学」は、学習テーマを設け実施します。

令和7年度も坂戸市さらに城西大学、明海大学、日本医療科学大学との連携による「子ども大学にしているま」を開校します。地域の大学による専門性を活かした授業は、子どもたちの好奇心を刺激するとともに、子どもたちの学ぶ力や生きる力を育みます。

また、毛呂山町文化協会、毛呂山菊花会、毛呂山町民踊連盟等の生涯学習に組織的に取り組む団体に対して補助金を交付し、事業の活性化等の支援を行います。

### （3）人材の育成と学習成果の地域還元

学びの成果を地域に還元する場を提供することは、学習者が主体的に活動する意欲や向上心の醸成にもつながります。

毛呂山町には、豊富な経験や優れた技能をもつ人材がおり、地域の中でそれぞれの得意分野で活躍してもらうため「毛呂山町生涯学習ボランティア人材バンク」を開設しています。人材バンクの登録制度を広く周知するとともに、実際の活用事例をホームページ等で紹介しながら利用促進を進めます。

また、令和元年度からスタートしたコミュニティ・スクール制度のもと、地域人材の活躍の場でもある地域学校協働活動によって、地域と学校が連携・協働して進めていく「学校を核とした地域づくり」の推進に努めます。

#### 【令和6年度人材バンク登録数】

□登録者数 個人26人、団体7団体

□活用数 9件（個人6件）

### （4）地域ぐるみでの青少年育成活動の推進

少子化や地域コミュニティの希薄化に加え、スマートフォン等を媒体とした SNS の普及により、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。令和7年度も毛呂山町PTA連合会、毛呂山町青少年相談員協議会、毛呂山町青少年育成町民会議、毛呂山町子ども会育成会連絡協議会、毛呂山町青少年を見守る会等の各種団体に協力をいただき、青少年の非行防止活動を実施します。

また、青少年育成団体等との合同による「子育て講演会」や「彩の国21世紀郷土かるた毛呂山町大会」を通じて、地域ぐるみで青少年を育成する機運を高めます。

### （5）人権教育の推進

生涯学習における人権教育は、町民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、子どもから高齢者に至るまでお互いの人格を尊重しあえる「共生社会」の実現を目指して進められる教育です。

身近な人権問題は、「共生社会」の中で継続的に取り上げられるべき学習課題に位置づけられます。

令和7年度は、女性、災害、障害のある人、ハラスメント、医療等、身近な人権課題に視点を

当て、講義や視察研修を通して理解を深め、差別や偏見のない明るく住みよいまちづくりに役立つ生涯学習人権教育講座「考えよう 住みよい社会と人権課題」シリーズ13を企画し開催します。また、社会教育関係団体の役員や町職員、教職員等の資質の向上を図るため「人権教育指導者養成研修事業」を開催します。専門の講師による講義によって身近な人権に関する知識を深め、さらに一人ひとりが人権保護・擁護の姿勢や行動をとることができ、人権感覚を育てられるように努めます。

【参考 令和6年度主催・共催事業】

事業名	会場	回数 (期日)	参加人数	事業内容
放課後学習教室	町内4 小学校	27～ 28回	登録 70人 (途中辞退5人)	小学4・5年生を対象に、学校の余裕教室を活用し児童の「安全・安心な居場所」と「自主的な学びの場」を提供する
生涯学習人権教育講座 「考えよう 住みよい社会 と人権課題」シリーズ12	中央 公民館等	8回	158人	虐待のない社会、男女共同参画、認知症、広島被爆の実態、刑に付いた人、多文化共生、犯罪被害者、医療現場における人権等をテーマにした専門家による講義
人権教育指導者養成研修 事業	役場等	7回	256人	団体や教職員等を対象に同和問題、震災、障害、多文化、ヤングケアラー、ハンセン病、ハラスメント等についての講義
第69回二十歳のつどい	ウイズ もろやま	1/12	218人	企画運営委員による司会・進行 令和元年度以来の2部構成とし、保護者の入場を認め、来賓・主催者の入場人数を拡大した
寿大学	山根荘	3回	153人	毛呂山町の歴史と文化健やかな口腔ケア軽スポーツ体験会についての講座を開催
子ども大学にしいるま	城西大学 等	4回	参加児童数 2市町25人	城西大学、明海大学、日本医療科学大学との連携により、各大学の特徴を活かした教室等を開催
子育て講演会	毛呂山町 役場	1回	81人 (23チーム)	毛呂山町青少年育成町民会議・毛呂山町PTA 連合会主催の講演会を開催
「彩の国21世紀郷土かるた」毛呂山町大会	総合公園	12/22	55人 団体14、個人12	毛呂山町子ども会育成会連絡協議会との共催により開催
「親の学習・子育て」講座	町内4 小学校	4回	131人	就学児童健康診断時の保護者待機時間を活用し、埼玉県家庭教育アドバイザーによる講座を開催



二十歳のつどい



彩の国21世紀郷土かるた大会

# スポーツ振興

## ●毛呂山町スポーツ健康都市宣言

わたくしたち毛呂山町民は、スポーツを愛し、スポーツに親しみ、健康で活力あるまちづくりを進めるため、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 1 スポーツをとおり、体力を養い健康づくりにつとめましょう。
- 1 スポーツに親しみ、豊かな心と体をつくりましょう。
- 1 スポーツを通じ、友情の輪をひろげましょう。
- 1 スポーツを地域にひろめ、健康で活力ある明るいまちづくりをすすめましょう。

平成元年10月17日制定

## 目 標

「毛呂山町スポーツ健康都市宣言」及び令和5年3月に制定された「毛呂山町健幸づくりのまち宣言」の精神を踏まえ、生涯スポーツを振興することにより、健康で活気に満ちたまちづくりを推進します。



スポーツフェスタもろやま



モルック大会

## 現状と課題

### 1 生涯スポーツの普及促進

実施事業【令和6年度】

大会・教室名	期 日	会 場	参加人数
軽スポーツ体験会	6/29	毛呂山総合公園体育館	28人

スポーツフェスタもろやま	10/6	毛呂山総合公園	3,850人
名球会メモリアルカップ 毛呂山少年野球大会	11/4 11/9 11/10 11/17	大類ソフトボールパーク 等	32チーム
パタンク大会	11/24	大類グラウンド	48人
黒山・鎌北湖駅伝大会	12/7	毛呂山総合公園～ 越生町中央公民館	48チーム
町内バレーボール大会	12/8	毛呂山総合公園体育館	8チーム
スポーツ少年団交流会	2/1	毛呂山総合公園体育館	12団
モルック大会	3/15	大類グラウンド	25人

平成23年にスポーツ基本法が制定され、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは人々の権利であるとされました。また、同法のなかで、地方公共団体はスポーツに関する施策を策定し、実施する責務を有することとされました。

町では、気軽に参加できる各種スポーツ教室・大会等を充実させるとともに、各種団体及び地域のスポーツ活動への指導者の派遣、支援等を図り、スポーツ・レクリエーションを通じたよりよいコミュニティの形成と「健幸づくりのまち宣言」の推進を図るため運動機会の提供に努めます。

また、町民レクリエーション大会を、だれもが気軽に参加できる体験型イベント「スポーツフェスタもろやま」としてリニューアルし開催しています。今後もスポーツを通じたコミュニティ活性化の場の提供を図ります。

令和7年度に健幸ウォーキング事業として、住民が気軽にウォーキングに取り組み健康増進を図ることができるよう、ゆずの里健幸ウォークをはじめとしたウォーキングイベントの開催や、LINEを活用したデジタルスタンプラリーを実施します。また、令和5年度に作成した「もろやま健幸ウォーキングマップ」を、農産物直売所等ウォーキングをしながら楽しめる情報を加えリニューアルしたウォーキングマップを発行します。

## 2 団体及び人材の育成と活用

スポーツ協会													スポーツ少年団										
モ	マ	ペ	ゴ	テ	弓	剣	山	サ	陸	卓	ソ	ソ	バ	野	バ	少	バ	空	柔	剣	サ	硬	軟
ル	レ	タ	ル	ニ			歩	ッ		球	フ	フ	レ	球	シ	女	ス				ツ	式	式
ッ	ト	ン	ル	ス	道	道	き	カ	上		テ	ト	ポ		ー	ソ	ケ	手			カ		
ク	ゴ	ク	フ	ス	道	道	同	ー		連	ニ	ポ	ー		ボ	フト	ット				ー	(二	野
愛	フ	愛	連	協			好	協			ス	ル	ル		ー	ト	ト				単	球	野
好	愛	好	連	協			好	協			連	ル	ル		ル	ボ	ボ				位		
会	好	好	盟	会	盟	部	会	会	部	盟	盟	会	盟			ー	ー	道	道	道	団	球	球
	会	会	盟	会	盟	部	会	会	部	盟	盟	会	盟			ル	ル				)		

スポーツ団体は、それぞれスポーツを楽しんでいると同時に各種大会や教室を開催するなど、スポーツを振興するための重要な役割を担っています。今後は、より多くの団体が自主的に大会や教室を開催できるよう、活動の支援を行います。

スポーツ推進委員やスポーツ指導者等の人材育成や資質向上も継続的に実施していく必要があります。今後も、研修会等への参加を促進し、地域へ指導者として派遣するなど住民のニーズに対応できるよう指導力の向上を目指します。

### 3 スポーツ施設の整備・充実と利用促進

施設名	施設内容
大類グラウンド	多目的（野球・サッカー・陸上等） ペタンクコート6面／マレットゴルフコース
川角グラウンド	野球 / テニスコート1面
岩井グラウンド	多目的（ソフトボール・ちびっこサッカー等） ゲートボール場
目白台グラウンド	多目的（少年野球・ソフトボール等）
西戸グラウンド	ソフトボール場2面
大類ソフトボールパーク	ソフトボール場2面
川角公園	テニスコート6面 / ゲートボール場
弓道場	5人立

#### 《学校体育施設》

学校名	施設内容
毛呂山小学校	運動場 / 体育館
川角小学校	運動場 / 体育館
光山小学校	運動場 / 体育館
泉野小学校	運動場 / 体育館
毛呂山中学校	体育館 / 武道場
川角中学校	体育館

町内の各スポーツ施設は、週末を中心としていずれも高い利用率になっている一方、各施設とも老朽化が進んでおり、施設・設備の修理や更新について多額の費用がかかることが見込まれます。

今後は、指定管理者とも連携し、利用者が快適に利用できるよう各施設・設備の計画的な改修・整備を図る必要があります。また、様々なスポーツに関する情報を町のホームページや広報紙などで提供し、更なる施設の利用促進を図ります。



総合公園



大類グラウンド

# 中央公民館

郵便番号 350-0465  
所在地 毛呂山町岩井西1丁目15番地1  
TEL 049(294)1250  
FAX 049(294)1040  
E-mail kkoumin@town.moroyama.lg.jp  
開設年月日 昭和30年4月1日



## 沿革

昭和30年に毛呂山町と川角村の合併により、「公会堂」を「公民館」と改め、「毛呂山町公民館」、「毛呂山町公民館川角分館」が創設されました。昭和44年には、毛呂山町公民館が新築されました。昭和50年、毛呂山町公民館川角分館が廃止され、昭和54年、川角中学校旧校舎に毛呂山町公民館川角分館（現在、廃止）を設置しました。昭和55年には旧役場庁舎に毛呂山町公民館を移転し、「旧毛呂山町公民館」を「毛呂山町公民館毛呂山分館」（現在、廃止）に改めました。

現在の公民館は昭和59年に開館し、平成14年東公民館建築により中央公民館と名称を変更し現在に至っています。

## 目 標

公民館は、社会教育法の趣旨を実現するために、地域住民のための学習機会の提供、文化創造・仲間づくりの場であることを目標としています。

今後も、地域住民が豊かで充実した日々を送るための生活課題の解決を目指した事業、ボランティア活動の推進、学習支援機能の充実を図ります。

なお、コミュニティ・スクールの実施に当っては、生涯学習で培った経験豊富な公民館サークル団体の皆さまと子どもたちを繋ぎ、未来を拓く人づくりプロジェクトを支援して参ります。

## 施設概要

### 施 設

室 名	面積 (㎡)	定 員 (人)	室 名	面積 (㎡)	定 員 (人)
玄関ホール・ビュ	263.8	—	工 作 室 1	71.4	24
図書コーナー	52.5	—	工 作 室 2	58.3	16
会 議 室 1	48.8	24	調 理 室	101.4	36
会 議 室 2	45.5	18	学 習 室	97.6	60
展 示 室	76.8	30	和 室	46.0	24
視 聴 覚 室	134.2	90	事 務 室	37.6	—
講堂兼体育室	491.3	350			

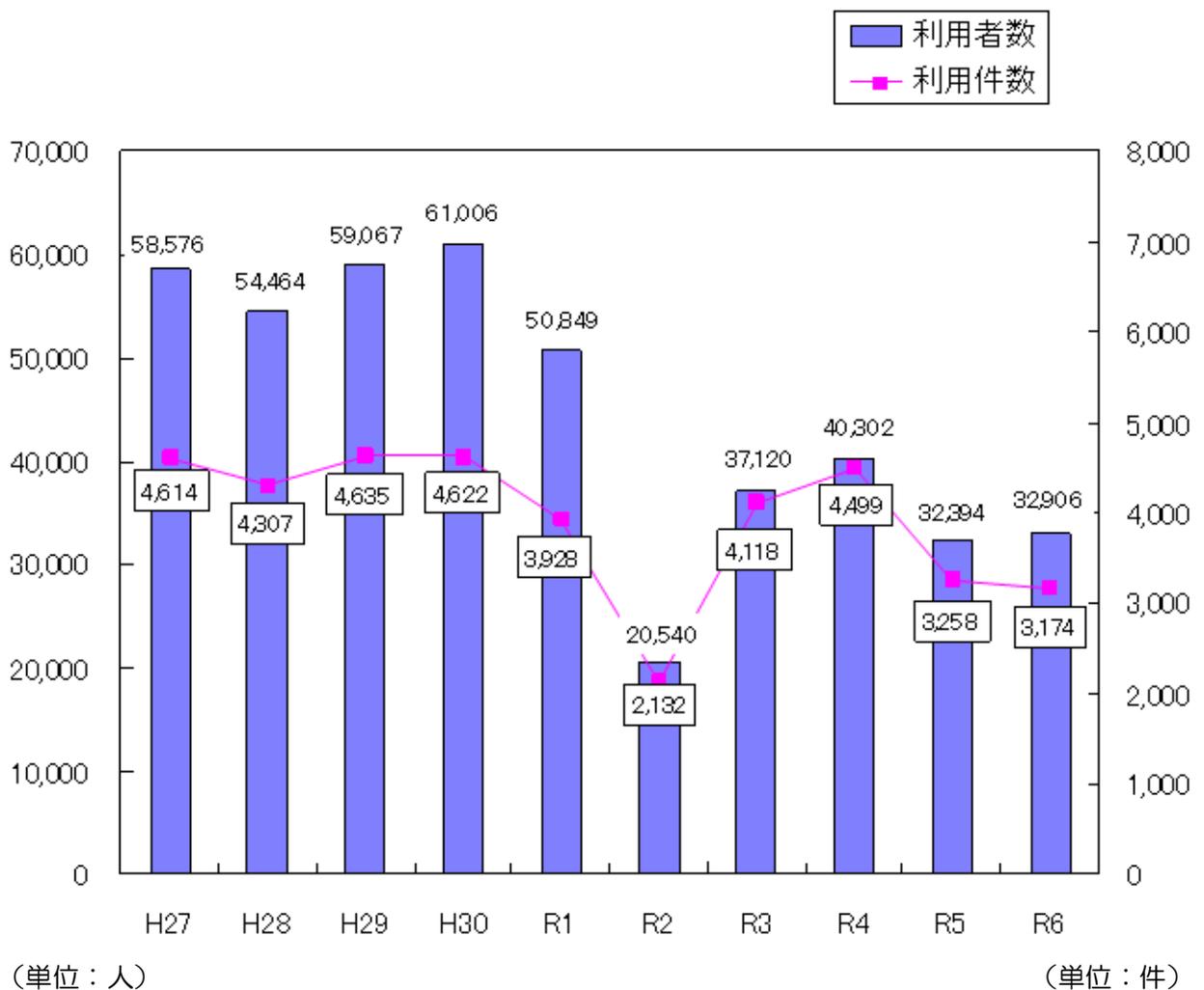
申し込み 使用希望日の2か月前の月の初日から前日まで  
 (土曜日、日曜日、祝日、休館日を除く午後5時まで)  
 使用時間 午前9時から午後9時30分まで  
 休館日 1月1日～3日、12月28日～31日

利用状況

[令和6年度]

利用区分	利用件数(件)	利用者数(人)
公民館主催事業	28	2,081
サークル(団体)等	3,005	28,966
公 用	141	1,859
合 計	3,174	32,906

平成27年度～令和6年度 毛呂山町中央公民館の利用件数、利用者数の推移



## 実施事業

[令和6年度]

### 1 児童・一般

事業名	回数	内容	参加延人数
ホテル観察会	2	ホテル観察を通じて、毛呂山町の豊かな自然に親しむとともに環境について考える。	43人
夏休み子ども体験教室 「恐竜の生態や進化過程を 探求しよう」	1	神流町恐竜センターを見学し、生物や自然環境について理解を深める。	20人
いきいき大学もろやま (中央公民館・東公民館共 催) 第1回 「運転者の交通事故防止」	1	～開校式～ 埼玉県防犯・交通安全課職員を講師に招き、高齢者の交通安全について、事故防止のポイントや交通事故による法的責任、認知症などを学ぶ。	51人
第2回 環境講座「SDGsに繋がる 食品ロスをなくそう！」	1	野菜ソムリエプロを講師に招き、食品ロス削減のためのワザと野菜・果物情報、健康情報について学ぶ。	58人
第3回 「眠り上手になるために」	1	快眠セラピストを講師に招き、睡眠の基礎知識と快眠するための体質・環境作りなどについて学ぶ。	61人
第4回 「健康寿命を延ばす食事について」	1	食生活ジャーナリストを講師に招き、健康寿命を延ばす食事について、心がけるべき食事内容や方法などを学ぶ。	57人
第5回 終活講座「生前整理・墓じまい」	1	環境と健康を重視した生活様式をサポートするロハスサポーターを講師に招き、生前・遺品等の整理のポイントや葬儀・墓じまいについて学ぶ。 ～閉校式～(修了者:39人)	52人
まなびあい講座 「フラダンス講座」	3	1日目は基本ステップの練習から始まり、3日目には曲に合わせて踊る。	24人
まなびあい講座 「初心者のためのスマホ教室」	3	初心者を対象にしたスマートフォンの基本的な操作、LINEの設定、インターネット閲覧等について初心者にわかりやすく説明する。	57人

## 2 催し物

事業名	回数	内容	参加延人数
芸能音楽祭2024	1	各種芸能、音楽団体等に発表の機会を設け、世代間の交流を深めるとともに、文化・芸能の振興を図る。	900人
第37回 中央公民館まつり	2	中央公民館利用サークルの1年間の学習成果を発表し、文化、芸術の振興を図る。	1,500人
ふれあい中央公民館 (昔の遊びをやりまよう)	1	昔の遊びを通して、高齢者と子どもたちの世代間交流をもつことで、高齢者のボランティアを育成するとともに、子どもたちに昔の遊びの面白さを体験する機会を提供する。	143人 (子ども79人 大人49人 ボラ15人)

## 3 利用者懇談会

事業名	回数	内容	参加延人数
利用者懇談会	2	利用しやすい公民館となるようサークル(登録団体)の意見・要望を聞くとともに、指導及び育成を図る。	86人

## 4 発行物

事業名	回数	内容	発行部数等
サークルガイドブックの発行	1	登録団体の紹介等を行い、町民の生涯学習の資料として発行。	600部



まなびあい講座「フラダンス講座」



中央公民館まつり(舞台部会)

# 東公民館

郵便番号 350-0436  
 所在地 毛呂山町大字川角298番地1  
 電話番号 049(295)2277  
 F A X 049(295)2070  
 E-mail h-koumin@town.moroyama.lg.jp  
 開設年月日 平成14年5月1日



## 沿革

東公民館は、町の東部地区に2館目の公民館として平成12年度から2か年継続事業で平成14年3月に建設工事が完了し、5月1日に開館、平成15年3月には附属棟も完成しました。生涯学習やコミュニティづくりの拠点施設として整備され、現在に至っています。

## 目標

東公民館は、社会教育法の趣旨を実現するために、地域住民のための学習機会と情報を提供し、文化創造・出逢いやふれあいの場であることを目標としています。

今後も、地域に根ざした生涯学習の拠点とし、住民が豊かで充実した日々を送るための生活課題の解決を目指した事業、ボランティア活動の推進、学習支援機能の充実を図ります。

なお、コミュニティ・スクールの実施に当たっては、生涯学習で培った経験豊富な公民館サークル団体の皆さまと子どもたちをつなぎ、未来を拓く人づくりプロジェクトを支援して参ります。

## 施設概要

### 施設

室名	面積(m <sup>2</sup> )	定員(人)	室名	面積(m <sup>2</sup> )	定員(人)
会議室1	68.73	30	工作室	109.31	37
会議室2	45.96	18	コミュニティルームゆず	154.60	70
ギャラリー	112.62	—	学習ホールめじろ	178.87	168
視聴覚室	74.53	30	リハーサル室	37.26	12
和室菊華	87.59	20	保育室	24.84	8
研修室	78.67	33	事務室	57.96	—
図書室	99.37	39	休憩室	7.45	—

申し込み 使用希望日の2か月前の月の初日から前日まで  
 (土曜日、日曜日、祝日、休館日を除く午後5時まで)

使用時間 午前9時から午後9時30分まで

休館日 1月1日～3日、12月28日～31日

利用状況

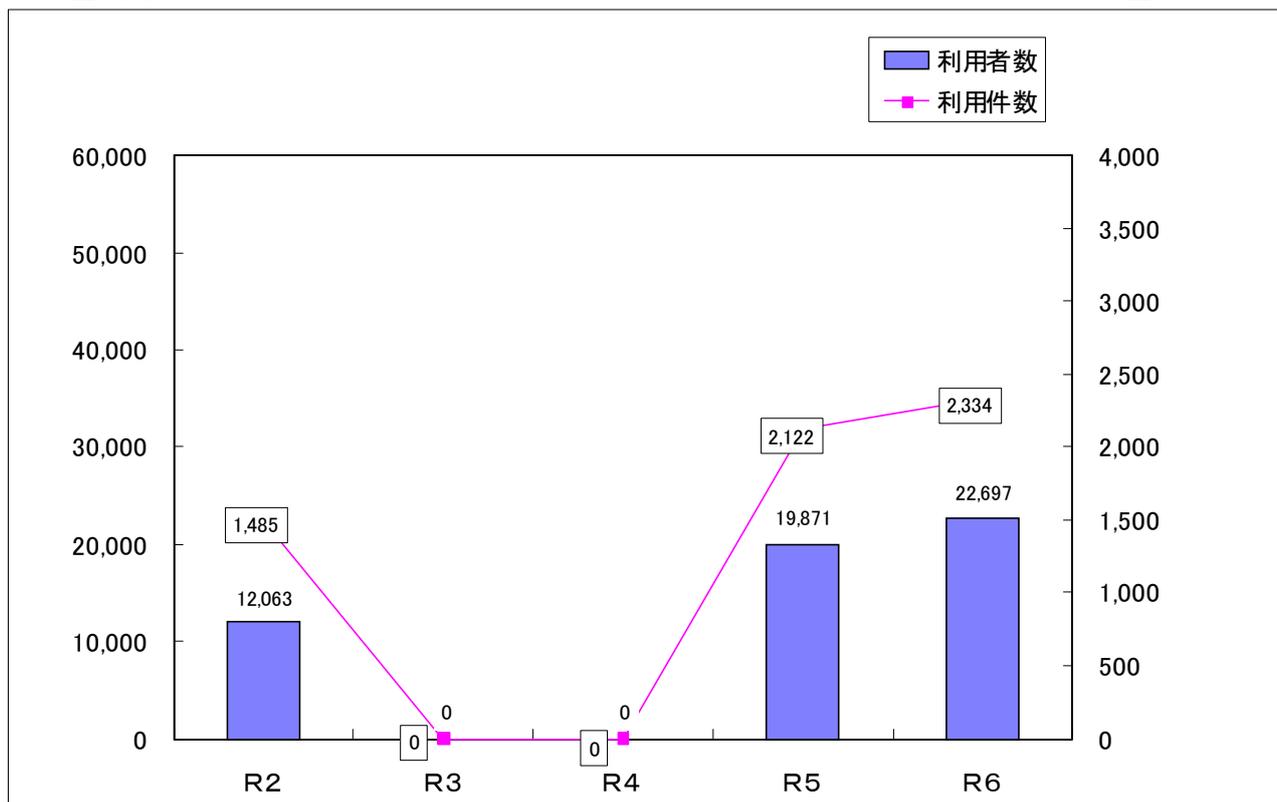
[令和6年度]

利用区分	利用件数（件）	利用者数（人）
公民館主催事業	37	2,177
サークル（団体）等	1,786	15,521
公 用 等	511	4,999
合 計	2,334	22,697

令和2年度～令和6年度 毛呂山町東公民館の利用件数、利用者数の推移

（単位：人）

（単位：件）



※令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルスワクチン接種会場のため、公民館としての利用はありませんでした。

実施事業

[令和6年度]

1 児童・一般

事業名	回数	内容	参加延人数
子ども体験教室	3	カブトムシを東公民館中庭で飼育し、幼虫から成虫までの成長を観察。	48人
夏休み子ども体験教室 「ダムを探検しよう」	1	下久保ダム（埼玉県児玉郡神川町）に行き、エレベーターで内部を通り、見上げながら説明を受け、ダムの役割について学ぶ。	13人
いきいき大学もろやま （中央公民館・東公民館共催） 第1回 「運転者の交通事故防止」	1	～開校式～ 埼玉県防犯・交通安全課職員を講師に招き、高齢者の交通安全について、事故防止のポイントや交通事故による法的責任、認知症などを学ぶ。	51人
第2回 環境講座「SDGsに繋がる食品ロスをなくそう！」	1	野菜ソムリエプロを講師に招き、食品ロス削減のためのワザと野菜・果物情報、健康情報について学ぶ。	58人
第3回 「眠り上手になるために」	1	快眠セラピストを講師に招き、睡眠の基礎知識と快眠するための体質・環境作りなどについて学ぶ。	61人
第4回 「健康寿命を延ばす食事について」	1	食生活ジャーナリストを講師に招き、健康寿命を延ばす食事について、心がけるべき食事内容や方法などを学ぶ。	57人
第5回 終活講座「生前整理・墓じまい」	1	環境と健康を重視した生活様式をサポートするロハスサポーターを講師に招き、生前・遺品等の整理のポイントや葬儀・墓じまいについて学ぶ。  ～閉校式～（修了者：39人）	52人
じきょうじゆつ 自彊術体験講座	4	日本で最初の健康体操である「自彊術」の体験講座を実施し、当館で活動する自彊術サークルの活性化につなげる。	51人
まなびあい講座 「親子で楽しむ門松教室」	1	里山の保全・回復活動に努めている団体の方を講師に招き、新年の門松を親子で楽しく手作りする講座を実施。	34人
まなびあい講座 「日本伝統の茶道体験講座」	1	裏千家の専任講師を講師に招き、抹茶のたしなみを気軽に体験できる講座を実施。	9人

[令和6年度]

2 催し物等

事業名	回数	内容	参加延人数等
第18回 東公民館めじろコンサート	1	地元の音楽一家のS. クワルテットオルゴールによるサクソフォンのアンサンブル演奏を披露。 ご家族ならではの息の合ったカルテットが見所で、安定した技術の高い演奏と誰もが楽しめる曲構成により、来場者を飽きさせることなく、笑顔があふれるコンサートとなる。	出演者 4人 観客数 61人
第19回 東公民館ふれあい文化祭	1	東公民館定期利用サークルの1年間の学習成果を展示や体験、舞台上で2日間に渡って発表し、文化・芸術の振興を図る。	参加団体 42団体 来観者 837人
第5回 クリスマスコンサート	1	アンサンブルティーンズ音楽団と、団員の出身校の川角中学校吹奏楽部との合同演奏を披露。ベテランと若い演奏者が奏でるクリスマスソングは、幅広い年代で楽しめ、心が踊る素敵なコンサートとなる。	出演者 57人 観客数 155人

3 その他事業

事業名	回数	内容	参加延人数等
第50号 文芸もろやま	1	町民等から随筆、短歌、俳句、川柳、詩を募集して、冊子を発行することで、文芸の振興を図る。	応募者 55人 応募作品 186点
サークルガイドブックの発行	1	登録団体の紹介等を行い、町民の生涯学習の資料として発行。	400部
公民館だよりの発行	1	サークルと公民館の情報発信ツールとして発行。	—

4 利用者懇談会

事業名	回数	内容	参加延人数
利用者懇談会	2	利用しやすい公民館となるよう、サークル（登録団体）の意見・要望を聞くとともに指導及び育成を図る。	43人 (35団体)

生涯学習



子ども体験教室  
「カブトムシを幼虫から育ててみませんか！」



自衛術体験講座



いきいき大学もろやま 第3回  
「眠り上手になるために」



第19回 ふれあい文化祭



第5回 クリスマスコンサート



文芸もろやま 第50号